



子どもたちの健康状態をモニターするため、個々の児童の体重増加の様子をヘルスワーカーから聞く猪狩さん。

子どもたちの健康のために

1000人当たり55人*——マラウイの5歳未満児の死亡率はまだまだ高い。

健診で子どもたちの健康や栄養状態を確認し、予防接種を実施するのはヘルスワーカーだ。日本の母子健康手帳にあたる「ヘルスパスポート」に健康状態を記録するのだが、記入ミスも多く適切に活用されていない。

ヘルスパスポートが使いやすくなれば、多くの子どもたちの命が救えるのではないかとこの課題を解決すべく、JICA海外協力隊の公衆衛生隊員が支援のバトンを引き継いで活動している。

歴代の先輩隊員たちは、分かりやすく記入しやすいヘルスパスポートの改善案を保健省に提出し、発行が決まるまで協議を重ねてきた。私たちの代では新ヘルスパスポートの発行を見込み、隊員が派遣されていない地域にも赴いて、ヘルスワーカーへの記入指導と母親への育児力向上の支援を実施した。

今年1月、ついに新ヘルスパスポートが発行され、ムジンバ県北部の新生児の母親に配付できる運びとなった。保健省、JICAマラウイ事務所、歴代の隊員たちの念願がかなった瞬間は、言葉にできない感慨があった。

今後は、学びをともにしたヘルスワーカーたちがぎつとこのバトンを引き継ぎいでくれるだろう。新しいヘルスパスポートを手に喜ぶヘルスワーカーたちの顔を見て、そう思った。

*「2015」世界子供白書2017

今月の投稿(文と写真) 猪狩尚史さん
青年海外協力隊2017年度2次隊公衆衛生隊員。マラウイ北部エヌクウエヘルセンターで活動中。現地の医療スタッフが主体的に医療保健サービスを住民に提供できるように業務を支援しつつ、住民への個別の保健指導も実施している。

あなたの投稿をお待ちしています！

「わたくしが見つけたSDGs」に写真と原稿をお寄せください。貧困や気候変動、格差ほか、いま世界が直面している課題に取り組む人々の姿など、SDGsの17の目標を身近に感じられる作品をお寄せください。
応募要項：写真1点(ご自身が撮影されたもの)、文字原稿400字以内。
*写真内の被写体に関する肖像権およびその他の権利は、投稿者の責任において被写体や権利保持者の承諾を得るなど必要な措置をとったうえでご応募ください。

ご応募・お問い合わせ先 ▶ ML_JICAPR@jica.go.jp (「mundi」編集部宛て)



SDGsとは

持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)は「誰一人取り残さない」をスローガンに、格差や貧困、環境破壊など世界が直面している問題の根本的な解決を目指す、17分野の国際目標。

持続可能な開発目標(SDGs)とJICAの取り組み
URL: <https://www.jica.go.jp/aboutoda/sdgs/>